

平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 26 年 2 月 12 日

上場会社名 オイシックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3182 URL http://www.oisix.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 長谷川 哲也 (TEL) 03(5447)2688  
 四半期報告書提出予定日 平成 26 年 2 月 13 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 3 月期第 3 四半期の業績 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 3 四半期	11,972	6.9	626	10.7	655	14.1	369	4.8
25 年 3 月期第 3 四半期	11,198	—	566	—	574	—	352	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 3 月期第 3 四半期	66.64	57.67
25 年 3 月期第 3 四半期	76.45	—

(注) 平成 24 年 10 月 25 日開催の取締役会決議により、平成 24 年 11 月 12 日付で普通株式 1 株を 4 株に株式分割いたしました。  
 このため、1 株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益は、これらの株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 3 月期第 3 四半期	6,210	3,282	52.9
25 年 3 月期	4,712	2,838	60.2

(参考) 自己資本 26 年 3 月期第 3 四半期 3,282 百万円 25 年 3 月期 2,838 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 3 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26 年 3 月期	—	0.00	—	—	—
26 年 3 月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 26 年 3 月期の業績予想 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	15,741	8.0	733	0.0	750	2.3	430	26.8	77.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成 26 年 2 月 12 日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	5,689,400株	25年3月期	5,468,200株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	—株	25年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	5,543,764株	25年3月期3Q	4,613,018株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国経済の回復基調等を背景に、日銀による金融緩和の継続や政府の経済政策の効果により円安・株高が進行し、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られるなど、景気は緩やかな回復傾向で推移いたしました。一方で、新興国経済の成長率鈍化や、中国・韓国など近隣諸国との国際関係の悪化のほか、平成26年4月以降の消費税増税による消費の落ち込みが懸念されるなど、引き続き先行き不透明な状況にあります。

当社の主たる事業領域である安全性に配慮した食品業界を巡る動きとしては、原子力発電所事故に伴う食品の放射能汚染問題を受けた食の安心・安全に関する消費者の意識は、一時期よりは鎮静化傾向にあるものの、引き続き高い状況にあります。

EC業界を巡る動きとしては、大手EC事業者や大手流通企業が相次いでいわゆるネット・スーパー事業強化の方針を打ち出すなど、食品ECの将来性によりいっそう注目が集まっております。また、スマートフォンやタブレット型端末の本格普及により、ECを取り巻く環境も刻々と変化しております。

このような環境を背景に、当社では成長市場である食品EC市場におけるOisixブランドの確立や、高付加価値食品分野における独自性・競争優位性の確立に取り組んでまいりました。

具体的には、SEO（Search Engine Optimization 検索エンジン最適化）やSEM（Search Engine Marketing 検索エンジンマーケティング）の強化や、Facebook等のSNSを活用した顧客開拓、お客様の嗜好や属性に合わせたWebページ作成による顧客転換率の向上を図るほか、イベント等を通じた対面での勧誘を強化することにより、主力サービスである定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」への集客に努めました。

また、高付加価値ブランド食品の取り扱いの拡大や、単品定期購入サービスの強化等により、購入単価の向上に取り組むほか、スマートフォン対応の強化など、お客様により便利にお買い物していただくためのサービス改善にも取り組んでまいりました。

併せて、海老名配送センターを中心に業務効率・コスト効率の改善を図るなど収益基盤強化に努めるとともに、平成25年12月末をもって店舗宅配事業（乳販店等を通じた通販事業）から撤退するなど、経営資源の最適配分に向けた施策を推進してまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は11,972,810千円（前年同期比6.9%増）、営業利益は626,735千円（前年同期比10.7%増）、経常利益は655,004千円（前年同期比14.1%増）となりました。

また、株式会社リクルートホールディングスと当社との合弁会社である株式会社ごちまるについて、同社の事業基盤確立を目的とした再強化策に関して、改めて株式会社リクルートホールディングスと当社間で協議に入ったことから、同社への投資に対する関係会社株式評価損23,870千円を特別損失に計上いたしました。

この結果、四半期純利益は369,416千円（前年同期比4.8%増）となりました。

販売経路（事業区分）別の売上高については、次のとおりであります。

#### [EC事業]

インターネットを通じて主に食品・食材の直販を行うEC事業においては、定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数が、前事業年度末（平成25年3月末）の73,865人から、当第3四半期会計期間末（平成25年12月末）には77,475人へ増加いたしました。

また、お客様の購入単価向上のための取り組みとして、平成25年1月より開始した高付加価値ブランド食品を当社サイト「oisix.com」にて取り扱うサービスを、平成25年5月より新サービス「Oiチカgourmet」として本格的に開始いたしました。平成25年12月末現在「Oiチカgourmet」は全28ブランドに拡大しております。

この他、平成25年7月からは、ワーキング・マザーなど忙しい女性の方向けに、安心・安全な献立が20分で完成する献立キット「KitOisix」の提供を本格的に展開し、更なる定期購入会員数拡大のための重点施策として注力しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間におけるEC事業の売上高は10,826,176千円（前年同期比5.9%増）となりました。

#### [その他事業]

その他事業においては、恵比寿店・二子玉川店の2店舗にて展開している実店舗での売上高が堅調に推移したほか、実店舗3店舗目として、新しく“体験型”のコンセプトを取り入れた新業態「Oisix CRAZY for VEGGY（オイシックス クレイジー フォー ベジー）アトレ吉祥寺店」のオープン（平成26年1月）に向けた準備に取り組んでまいりました。

また、「Shop in Shop」として平成24年9月より開始した東急ストアの店内におけるOisix専用コーナーの設置も、平成25年12月末現在で8店舗まで拡大いたしました。

加えて、平成25年11月より、株式会社三越伊勢丹ホールディングスグループが手掛ける会員制食品宅配サービス「三越伊勢丹エムアイデリ」との連携（主に当社による物流サービス等の受託）を開始するとともに、この物流サービス等の受託業務を、プラット・フォーム事業の主力として育成するために、新規クライアントの開拓にも注力しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間におけるその他事業の売上高は1,146,634千円（前年同期比17.8%増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して1,498,556千円増加し、6,210,934千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ1,403,466千円増加し、5,091,246千円となりました。これは主に現金及び預金の増加275,637千円、売掛金の増加814,992千円、商品及び製品の増加100,945千円、未収入金の増加176,439千円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ95,089千円増加し、1,119,688千円となりました。これは、有形固定資産の増加34,219千円、無形固定資産の減少14,486千円、投資その他の資産の増加75,357千円によるものであります。

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較して1,054,179千円増加し、2,928,322千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ1,052,685千円増加し、2,840,383千円となりました。これは主に買掛金の増加670,464千円、未払金の増加245,465千円、未払法人税等の増加90,957千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ1,494千円増加し、87,938千円となりました。これは、資産除去債務の増加4,266千円とその他の減少2,771千円によるものであります。

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度と比較して444,376千円増加し、3,282,612千円となりました。これは、資本金の増加37,530千円、資本剰余金の増加37,429千円、四半期純利益369,416千円の計上によるものです。

## （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年5月14日付「平成25年3月期決算短信」で公表いたしました平成26年3月期通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成26年2月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,136	2,234,774
売掛金	1,323,495	2,138,488
商品及び製品	188,807	289,753
仕掛品	—	2,172
原材料及び貯蔵品	3,888	14,331
未収入金	161,658	338,098
その他	100,428	147,107
貸倒引当金	△49,636	△73,479
流動資産合計	3,687,779	5,091,246
固定資産		
有形固定資産	544,506	578,726
無形固定資産	318,446	303,959
投資その他の資産	161,644	237,001
固定資産合計	1,024,598	1,119,688
資産合計	4,712,378	6,210,934
負債の部		
流動負債		
買掛金	885,029	1,555,494
未払金	517,913	763,378
未払法人税等	87,897	178,855
ポイント引当金	110,884	118,795
その他	185,973	223,860
流動負債合計	1,787,697	2,840,383
固定負債		
資産除去債務	46,190	50,456
その他	40,253	37,481
固定負債合計	86,444	87,938
負債合計	1,874,142	2,928,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	808,260	845,790
資本剰余金	563,160	600,589
利益剰余金	1,466,815	1,836,232
株主資本合計	2,838,235	3,282,612
純資産合計	2,838,235	3,282,612
負債純資産合計	4,712,378	6,210,934

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	11,198,964	11,972,810
売上原価	5,843,035	6,243,110
売上総利益	5,355,928	5,729,700
販売費及び一般管理費	4,789,593	5,102,965
営業利益	566,335	626,735
営業外収益		
受取補償金	7,405	15,957
その他	12,143	13,261
営業外収益合計	19,548	29,219
営業外費用		
株式公開費用	10,672	—
株式交付費	1,050	878
その他	125	71
営業外費用合計	11,847	949
経常利益	574,036	655,004
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	42,670	—
関係会社株式評価損	—	23,870
その他	7,500	—
特別損失合計	50,170	23,870
税引前四半期純利益	523,866	631,133
法人税、住民税及び事業税	153,539	278,823
法人税等調整額	17,668	△17,106
法人税等合計	171,207	261,717
四半期純利益	352,658	369,416

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

当社の事業は消費者向けに主に食品の宅配を行うEC事業とその他事業から構成されておりますが、EC事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、EC事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

当社の事業は消費者向けに主に食品の宅配を行うEC事業とその他事業から構成されておりますが、EC事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、EC事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。